

83年6月11日の日食計画(2)

編集部

〔6〕 広電観光株式会社 大阪営業所

'83年6月の日食については、広電観光株式会社としては81年8月のベルギーの国際アマ天大会(I. U. A. A.)に出席して世界各国代表と会合を行ない、彼等(特にアメリカとドイツ)が早々と行動を開始していることを知りました。わが社としてもいろいろな方面から今回の日食旅行を検討し、22~23万円ほどの費用で実現可能と考えて立案に入りました。

ところが、インドネシア人の気質なのか、インドネシア商売なのか、今迄にない勝手にエクリプスフィー(Eclipse Fee)という固有名詞を作り、信じられない金額を示してまいりました。その第1がホテル、第2がバス代、しかもホテルについては全額を82年2月末までに支払い、払い戻しは絶対にしないという「新旅行業法」で勝手に連絡してまいりました。わが社としても全然納得できないため大下省造氏自身が3月に現地に行き、ホテルのマネージャーと話し合いましたが、彼等の頭の中は、エクリプス・フィーそれだけでした。そのような状況のなかででき上がったのが、現在のパンフレットで、われわれなりにできるかぎりの無駄をはぶき、安い確実な観測旅行を実現する事を目標に最終案を出させて頂きました。

今回のチェックポイントはインドネシア税関のチェックからスタートし、日食観測地への道路事情、宿泊所、インドネシアの国内線の予約および確保、空港税、病院の位置、フィルムの価格(日本の2倍)、その他日本でいう「お正月」がインドネシアでは83年は丁度6月11日にあたり太陽がでている間は食事と飲み物は禁止されているとの事です。

今回の日食については「安く確実に観測」の合言葉が「粘り強く確実に観測」に変わってきているのが現状です。

広電観光株式会社の83年日食観測旅行計画は、次の5つのコースです。

コース名	日数	費用	定員	82年5月9日の現状
① 大阪Aコース	6泊7日	30万8千円	40名	満席
② 大阪Bコース	4泊5日	26万8千円	20名	満席
③ 東京Aコース	4泊6日	31万8千円	40名	残5席
④ 東京Bコース	4泊6日	26万5千円	25名	満席
⑤ ポートモレスビーコース	7泊8日	52万5千円	15名	残5席

出発日は①、③、④はいずれも1983年6月8日(水)、②と⑤は9日(木)、観測地は大阪出発の班はジョグジャカルタ、東京出発の班はインドネシアを通る中心線上の東端の海岸線付近のパチランの予定です。⑤はポートモレスビーの予定です。(⑤は大阪出発)

〔7〕 日食情報№1の〔1〕でお知らせした日本交通公社・海外旅行本社内支店の主催する日食観測ツアーについては現在パンフレットが出来上っているため、希望の方は、電話東京(03)284-7578～9まで連絡されると良いと思います。パンフレットの内容をまとめると以下のとおりです。

コース名	日数	費用	定員
東京Aコース	7泊8日	34万3千円	39名
東京Bコース	6泊7日	33万円	39名
大阪Aコース	7泊8日	34万3千円	29名
大阪Bコース	6泊7日	33万円	39名

計画としては、日食の2日前6月9日に現地ジョグジャカルタ入りをする。日食観測の翌日に仏教遺跡、ボドブドール見学が4コースともに入っていて、特に日食の前日を観測準備のためにフルに使える点は大変に良い企画であると思います。

〔8〕

東急観光新橋営業所(企画は五島プラネタリウム)

観測地はソロで、計画は5泊6日で、東京-デンパサール-ジョグジャカルタ-ソロ-ジャカルタ-東京、費用は28万6千円、定員は五島プラネタリウムの“星の会”会員から20名、其の他から20名の約40名を見込んでいる。

現地のホテルは、サヒドプリンスホテルを計画し、経由地のデンパサールでも、サヌールビーチホテルを予定している。

〔9〕

日本交通公社海外旅行本社内支店・営業三課・鶴岡グループの企画。観測地はニューギニアポートモレスビー。コースは、東京→ポートモレスビー→シドニー→東京。出発は6月9日、帰国は6月14日の6日間コース。費用は49万9千円。

〔10〕

(企画) ロッジ星の家

(主催) 日本交通公社 海外旅行本社内支店

旅行期間は '83年6月8日～6月13日の8日間、費用は29万6千円、募集人員は40名を予定している。この計画も日食の2日前に観測地 ソロに到着し、日食前日を準備にあてている。東京→ジャカルタ→ソロ→ジョグジャカルタ→ジャカルタ→東京の旅程となってパンフレットの希望者は、ロジ星の家係または、星の家まで。

[11]

(企画) ケメロボさすらい派

(主催) 東急観光株式会社

観測地はポートモレスビーで、7泊8日の日程は、東京→香港→ポートモレスビー→マウントハーゲン→ゴロカ→ポートモレスビー→東京、人員は15～20名で、楽しさと自由の雰囲気のある日食観測旅行を目標としている。費用は39万5千円

[12]

企画されながら中止になったものもある。

日本交通公社海外旅行横浜支店(天文雑誌「星の手帖」共催)

観測地はジャワ島ソロ付近 同市内に70名分のホテルを確保。2班に分かれ、1班は日食観測のみの比較的安いコースを、他の1班は、シンガポール・タイ・ホンコンなどの観測地を巡る計画だった。

[註]

前回の日食情報〔4〕で発表したトラベル世界株式会社では、何回かの社内協議を重ねた結果、今回の日食ツアーは全面的に取り止めることにしたとの連絡が入っている。

私たちの日食情報センターで入手した計画は合わせて3旅行社、1自主グループになるが、募集人員を全部合計すると、600名という多くの天文アマチュアが、83年日食に参加することになる。

なお、東京理科大学、東海大学などで企画が始められたと聞いているが、次号にでもつづいて発表する予定である。

日食情報センターは、いずれの旅行社とも共催や協賛をしていません。